

科目名：歯科診療補助論Ⅳ		必	2単位 (90 時間)
(Assisiting for Dental PracticeⅣ) 履修年次/時期：2 年次 前期 授業形態：演習 主担当教員：山本 裕子（実務経験 歯科衛生士 16 年：実務経験から、歯科診療で使用される器具を適切に取り扱うための知識・技術が身につけられるよう授業を行っていく） 担当教員：劉 彦君・関端 麻美			
学修目的	歯科診療の補助・介助を安全で適切に行うための器具の取り扱いについて理解を深め、臨床に対応することができる能力を身につける。 CP: 2,3 に関連する。 科目 No. S2C12H17		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	①歯科器械の滅菌保管、診療室における管理を理解する。 ②下記の歯科診療の術式に沿って使用する機器の種類と使用方法を理解し、取り扱いができる。 (1)保存修復治療 (2)歯内療法 (3)歯周治療 (4)補綴治療 (5)インプラント治療 (6)小児・歯科矯正治療 (7)口腔外科治療 (8)歯科訪問診療 (9)全身管理		
授業概要	日常の歯科診療が円滑に行われるためには、歯科衛生士が診療の補助・介助を適切に行うことが大切である。ここでは講義ならびに実習により、歯科用器具の名称、形態、用途などを学ぶとともに、事故防止も含めた器具の取り扱いについても学ぶ。さらに歯科医療の高度化に伴い、歯科衛生士として専門性を発揮できる能力を養う。		
評価方法	筆記試験（90%）、その他（課題、レポート提出、授業態度、ルーブリック）（10%）により評価する。 課題に対するフィードバックは授業内に行う。		
予習・	【予習】 1.0 時間		

復習時間	【復習】1.0 時間
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科機器
参考書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 保存修復学 歯内療法学 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 永末書店 歯科衛生士講座 歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論
オフィス- 連絡先	山本：月～金 16：20～17：00 3号館2階研究室 yamamoto.yuko@kdu.ac.jp 劉：月～金 16：20～17：00 3号館2階研究室 ryu@kdu.ac.jp 関端：月～金 16：20～17：00 3号館2階研究室（教員研究室） sekibata@kdu.ac.jp *不在時はメールで連絡をお願いします。

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (1, 2) A 班：4/11 B 班：4/11	1) 歯科診療における機器の概説 * 新たな歯科医療技術に対応して開発された歯科機器について説明できる (p2～p5)。 2) 一般診療用機器 * 歯科用ユニット (p6～p21) について説明できる。	予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題 (約 8 題) の課題を解くこと。 キーワード：歯科用ユニット、口腔内スキャナー、CAD/CAM テクノロジー、口腔外バキューム、マイクロスコープ、双眼ルーペ	演習 ○山本 劉 関端
2 (3, 4) A 班：4/18 B 班：4/18	検査・診断・治療用機器② 口腔外科・麻酔用機器 * 局所麻酔に用いる機器 (p56) が説明できる。 * 抜歯に使用する機器 (p133～p137) が説明できる。 * 軟組織に使用する機器 (p137～p145) が説明できる。 * 硬組織 (骨) に使用する機器 (p145～p147) が説明できる。 * 酸素療法および笑気吸入鎮静に使用する機器 (p147～p148) が説明できる。 * 全身麻酔用機器 (p57 と「口腔外科・歯科麻酔」の p174～p186、p229～p231) が説明できる。 * 救急救命機器 (p58～p60、「口腔外科・歯科麻酔」の p206～p215、p259～p262) が説明できる。	予習：授業計画の「歯科機器」と「口腔外科・歯科麻酔」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題 (約 8 題) の課題を解くこと。 キーワード：浸潤麻酔、下顎孔伝達麻酔、キシロカイン、普通抜歯、難抜歯～埋伏歯抜歯、縫合、笑気吸入鎮静、全身麻酔、バイタルサイン、生体応答のモニタリング、静脈確保、一次救命	演習 ○劉 山本 関端
3 (5) A 班：4/21 B 班：4/21	検査・診断・治療用機器② * 歯および口腔検査用機器 (p61～p66) が説明できる。 * 歯および歯周組織検査用機器 (p67～p69) が説明できる	予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題 (約 8 台) の課題を解くこと。 キーワード：歯周プローブ、う蝕診断用機器、歯髄電気診断器	演習 ○関端 劉 山本
4 (6, 7) A 班：5/2 B 班：5/2	歯科衛生にかかわる機器 * 口腔清掃用機器 (p41～p49) が説明できる。 検査・診断・歯周治療用機器 * 歯周治療用機器 (p103～p111) が説明できる。	予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題 (約 8 題) の課題を解くこと。 キーワード：超音波スケーラー、エアスケーラー、歯面清掃器、ファークションプローブ、手用スケーラー、CO ₂ レーザー、クレーンカブランのポケットマーカー、歯肉切除用メス、骨膜剥離子、シュガーマン・ペリオドンタルファイル	演習 ○山本 劉 関端
5 (8, 9) A 班：5/9 B 班：5/9	検査・診断・治療用機器③ * 切削用機器 (p77～p85) が説明できる。 * 成型修復用機器 (p86～p91) が説明できる。	予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題 (約 8 題) の課題を解くこと。 キーワード：エアタービン、カーバイトバー、ダイヤモンドポイント、セパレーター、トッフルマイヤーリテーナー、マトリックスバンド	演習 ○山本 劉 関端
6 (10, 11) A 班：5/16 B 班：5/16	検査・診断・治療用機器④ * 印象採得用機器 (p112～p117) が説明できる。 検査・診断・治療用機器⑤ * 歯冠修復用機器 (p118～p124) * 歯内療法に使用する器具 (p92～p102) の名称、形態、用途について説明できる。	予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題 (約 8 題) の課題を解くこと。 キーワード：印象用トレー、印象用シリンジ、寒天コンディショナー、歯肉圧排用器材、シェードガイド、リムーバー、平行測定器、麻酔抜髄、感染根管治療、ファイル、リーマー、国際規格、根管拡大、根管形成、根管充填	演習 ○関端 (9) ○角田 (10) 劉 山本
7 (12) A 班：5/23 B 班：5/23	一般診療用機器 * 歯科用画像診断装置 (p26～p34) について説明できる。 * エックス線撮影関連機器 (p34～p40) が説明できる。 * 滅菌・消毒用機器 (p21～p25) が説明できる。	予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題 (約 8 題) の課題を解くこと。 キーワード：口内法エックス線撮影装置、	演習 ○山本 劉 関端

		パノラマエックス線撮影装置、頭部エックス線規格撮影装置、エックス線フィルム、ウォッシャーディスインフェクター、オートクレーブ	
8 (13, 14) A 班：5/30 B 班：5/30	検査・診断・治療用機器⑥ 矯正歯科用機器 ＊バンド装着に用いる機器（p150～p154）について説明できる。 ＊ブラケット装着に用いる機器（p155～p159）について説明できる。 ＊ワイヤーの屈曲・切断・結紮に用いる機器（p159～p166）について説明できる。 ＊小児歯科用機器（p167～p171）について説明できる。	予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題（約 8 題）の課題を解くこと。 キーワード：バンド（常環）、歯間分離、バンド試適、バンド合着、ブラケット、エッチング、ワイヤー屈曲、結紮、乳歯用既製金属冠	演習 ○劉 山本 関端
9 (15, 16) A 班：6/6 B 班：6/13	神奈川歯科大学附属病院、神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニックの診療および診療施設・器具の見学実習（1）	復習：レポート	演習 ○山本 ○劉 ○関端
10 (17, 18) A 班：6/20 B 班：7/4	神奈川歯科大学附属病院、神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニックの診療および診療施設・器具の見学実習（2）	復習：レポート	演習 ○山本 ○劉 ○関端
11 (19, 20) A 班：6/6 B 班：6/20	口腔機能管理演習 ＊口腔機能検査用機器（p70～p76）が説明できる。 ＊歯科訪問診療用機器（p182～p185）が説明できる。 ＊口腔機能の評価を列挙できる。 ＊口腔機能低下症の診断方法を理解する。 ＊フレイル、オーラルフレイルの評価方法を理解する。 ＊口腔の機能的問題の把握ができる。 ＊口腔機能測定に使用する機器の操作ができる。	予習：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」p153～p158、p363、p364 と「歯科機器」p70～p76 を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題（約 8 題）の課題を解くこと。レポート課題を提出すること。 キーワード：嚥下機能検査、舌圧検査機器、咬合測定機器、歯科訪問診療用機器 口腔機能低下症、オーラルディアドコキネシス、顎部聴診	演習 ○関端 劉 山本
12 (21, 22) A 班：7/11 B 班：7/11	検査・診断・治療用機器⑦ ＊有床義歯用機器（p125～p132）が説明できる。 ①印象採得に関する器具の名称、形態、用途について説明できる。 ②咬合採得に関する器具の名称、形態、用途について説明できる。 ＊インプラント治療に用いる機器（p172～p181）と「歯冠修復と欠損補綴」の p114～p121、195～203、について説明できる。	予習：授業計画の「歯科機器」「歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題（約 8 題）の課題を解くこと。 キーワード：既製トレー、概形印象、研究用模型、個人トレー、筋圧形成、作業模型、咬合床、下顎安静位、安静位空隙、フェイスボー、ゴシックアーチ	演習 ○林 劉 山本 関端
13 (23, 24) A 班：7/18 B 班：7/18	検査・診断・治療用機器⑧ 1) インプラント実習 ＊インプラント治療に用いる機器（p172～p181）と「歯冠修復と欠損補綴」の p114～p121、195～203 を、理解して使用することができる。 2) 総まとめ	予習：授業計画の「歯科機器」と「歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助」該当部分 復習：マークシート式客観問題（約 8 題）の課題を解くこと。 キーワード：インプラント埋入手術器具、ティッシュマネージメント、上顎洞挙上術、インプラント二次手術ブランクコントロールとメインテナンス	演習 ○山本 ○劉 ○関端